

校長室だより

No. 38

平成 28 年 2 月 12 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

九九検定実施中 - 2年算数 九九の学習 -

日本の九九は、他国と比べ、かけ算を習得するのに容易な方法といわれます。海外でかけ算を学習した方は、国や学んだ学校によって様々な学び方があったのではないかと思います。それはそれで、御自身の学んだ方法がベースになり、既にかけ算の概念は作られていらっしゃると思います。ちょっと前にインド式計算なんてものも流行った時期がありました。自分もそのときに少しやってみました。使わないと定着しないものですね。私のベースはやはり九九です。よく九九は、他国に比べ語呂が良く、効率的に短いことばで表現されているので、習得しやすいといわれます。



現在、2年生は、2時間目の後と清掃後の昼休みの時間に、九九検定を行っています。授業で担任の先生から合格をもらった子は、校長室で校長先生の問題に挑戦です。答えられれば「合格シール」がもらえます。九九検定の校長室1回目は、各段の九九が暗唱できているかどうかのチェック。2回目は、 8×2 のようにかけ算の式が書かれているカード（フラッシュカード）を、無作為に選んでチェックします。

2年生の算数では、学年の終わりに、この九九をマスターして3年に上がることがひとつの大きな目標です。九九の暗唱は、私たちの教育ことばでいうと、「習得と活用」の「習得」にあたります。これは全員できるようにして3年生に上がるようにしたいと思います。

よく九九を丸暗記し、「 $4 \times 7 = 28$ 」と反射的にいえるようにすることだけが最大の使命のように考えがちですが、計算の考え方をイメージできるようにすること(概念化)も大切にしてほしいことです。かけ算の概念というと難しいことばですね。例えば、「乗り物1台に4人ずつ乗れます。○台では何人乗れますか」、「長さが4cmのおもちゃの電車があります。○つ分の長さは何cmになりますか」といった問題があります。この○の数が増えていくとどんな増え方をするのか、そして、どんなときにかけ算を使うと便利なのかなど、かけ算の仕組みを頭の中でイメージでき、今後2桁のかけ算になっても、その考え方

がイメージできるようになる基といえよいでしょうか。

例えば、暗記だけだと「 3×12 はいくつかな？」と聞くと、よく子供は、「習ってないからできません」といいます。しかし、2年生の教科書で乗り物の絵や図などが増えていく様子から、きまりを見つける経験をしていきます。そこで、3年生のはじめに、

「九九の表を使って 7×6 の答えの見つけ方を考えましょう」

と、九九のきまりに着目させ学級で十分話し合わせます。すると、様々な気づきが出るなかで、かける数が1増えると答えが7ずつ増えることが見えてきて、「 7×5 」の答えに7をたせばよいことなどを考え出します。その後、「 3×10 、 3×11 、 $3 \times 12 \dots$ 」について考える場面をもつと、筆算を使わなくとも「 3×12 」の答えが出せるようになってきます。ここは教えるというよりも、



| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 2 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 14 | 16 | 18 |
| 3 | 3 | 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | 24 | 27 |
| 4 | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 | 24 | 28 | 32 | 36 |
| 5 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45 |
| 6 | 6 | 12 | 18 | 24 | 30 | 36 | 42 | 48 | 54 |
| 7 | 7 | 14 | 21 | 28 | 35 | 42 | 49 | 56 | 63 |
| 8 | 8 | 16 | 24 | 32 | 40 | 48 | 56 | 64 | 72 |
| 9 | 9 | 18 | 27 | 36 | 45 | 54 | 63 | 72 | 81 |

【算数3年上教科書 啓林館より引用】

自分たちできまりを見つけさせることが重要です。(今使っている算数の教科書の、3年生のはじめにこのような単元・教材があります。わり算の前に、かけ算の学び直しをする意味も込められています。子供は春休みの間に結構忘れてしまいますからね)

こうした学習を「活用」の授業といいます。基本的な知識や技能を活用して考えることで、基礎基本の定着を図ったり、発展的に考える思考力・表現力を養ったりします。

「暗唱が先か、考え方が先か」。議論は様々でしょう。どちらもたくさん学習経験することが必要だし、子供は1回や2回の授業でできるというものでなく、だんだん概念化されていくものというのが、私の考えです。

暗唱の方が比較的に身につけやすいと思われるので、九九検定をしています。ただ、人間は忘れる動物です。私がインド式計算を忘れたように、子供たちを責めることなく、時おり買い物などの生活の場面でかけ算を使うことを見せてあげたり、九九を思い出させてあげたりするとよいでしょう。

インフルエンザ対策をとっています

インフルエンザの流行が心配されています。本校では、養護教諭の梅津先生が、ずいぶん前から各教室にアルコール消毒の配置、せき・くしゃみ等が出る子への紙マスクの配付など、対策をとってしてくれます。健康観察・換気・手洗い・うがいもしっかり行います。気が抜けません。